

心理学

心理学

《担当者名》安喰 智美（非）

【概要】

心理学は精神機能と行動の科学である。

本講義では、保健・医療・福祉分野で必要とされる心理学の基礎的な知見を概説する。

この講義を通じて、心理学の各分野における基礎的な知識を身につけ、それらについて説明できるようになる。

そして、今後支援の現場に出た時に活用できる知識として身につける。

【学修目標】

感覚・知覚、学習、認知、動機づけと感情、ストレスと心の健康、比較行動学、発達、パーソナリティ、対人行動、文化と人間など、代表的なトピックにおける基本的事項について理解し説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	医療と心のつながりを知る	医療関係者がなぜ心理学を学ぶ必要があるのかについて理解する	安喰
2	感覚と知覚	感覚と知覚の基本法則や、知覚と物理的世界の関係についての基本事項を理解し、説明できる。	安喰
3	記憶の仕組み	人の記憶がどのように貯蔵され引き出されているのかについて基本事項を理解し、説明できる。	安喰
4	学習	様々なタイプの学習についての基本事項を理解し説明できる。	安喰
5	発達心理学	発達の諸側面についての基本事項を理解し、説明できる。	安喰
6	発達心理学	発達の諸側面についての基本事項を理解し、説明できる。	安喰
7	知能とパーソナリティ	人の知能とパーソナリティの諸側面についての基本事項を理解し、説明できる。	安喰
8	社会心理学	人と人とのつながりを支える心の仕組みについて基本事項を理解し、説明できる。	安喰
9	対人コミュニケーションの技術	コミュニケーションの双方向性や対人相互作用における技術について基本事項を理解し、説明できる。	安喰
10	動機づけと感情	人間の行動を始動させ方向づける要因や、感情の種類・機能についての基本事項を理解し、説明できる。	安喰
11	ストレスのメカニズム	ストレスとメンタルヘルスについての基本事項を理解し、説明できる。	安喰
12	心の防衛反応	心理的な防衛機制について基本事項を理解し、説明できる。	安喰
13	精神疾患の基礎知識	精神疾患についての基本事項を理解し、説明できる。	安喰
14	カウンセリングの技法	問題を解決する際の人の成長や発達を支える相談活動についての基本事項を理解し、説明できる。	安喰
15	セルフケア	支援者自身のセルフケアについての基本事項を理解し、説明できる。	安喰

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（筆記試験）100%

【教科書】

美濃哲郎, 大石史博 編 スタディガイド心理学第2版 ナカニシヤ出版

【参考書】

NEWTON別冊 新・ゼロからわかる心理学 NEWTON PRESS
中澤潤, 坂本真土, 天谷裕子, 小川健二, 古川洋和 心理学概論アップデート

【備考】

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「心理学と心理的支援」に該当する。また、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「こころとからだのしくみ」に該当する。

【学修の準備】

予習：各回の「授業内容および学習課題」に挙げられているキーワードについて、教科書やインターネットなどを利用して事前に予習を行う。(2時間)

復習：学習内容を自分の言葉でまとめる。教科書や配付資料の当該部分を精読し、講義中に触れられなかった内容の補完や講義内容との統合を行うこと。(2時間)

【ICTの活用】

学習教材(授業資料)の配布にはgoogle classroomを利用する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

(看護学科)

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

(福祉マネジメント学科)

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している